

## 第17代次官に矢野和彦氏 新旧事務次官が交代挨拶

## 「歴史で評価されること 一緒に成し遂げたい」

第17代文部科学事務次官に矢野和彦氏（60）が8月6日付で就任した。この日、職員に向けた新旧事務次官による交代挨拶が行われ、矢野新事務次官は「皆さんと一緒に、この失われた30年を教育、科学技術、文



矢野和彦氏  
矢野文部科学事務次官  
挨拶を述べる

化、スポーツの力で跳ね返す。この時代に生きた我々がその反転攻勢のトリガーを引いたのだと歴史で評価されることを皆さんと一緒に成し遂げたい」と意気込みを述べた。

既報のとおり、政府は7月31日の閣議で、増子宏事務次官の後任に矢野文部科学審議官を起用する人事を決めた。矢野氏は青山学院大学法学部を卒業後、1989年に旧文部省に入省。これまで、官房会計課長、文化庁次長、官房長、初等中等教育局長等を歴任した。一方、退任する増子氏は早稲田大学大学院理工学研究科を修了後、1988年に旧科学技術庁へ。これまで、地震・防災研究課長、原子力課長、官房会計課長、官房長等を歴任したほか、旧科技庁系としては初めて高等教  
育局長を経験した。2025年7月に第16代文部科学事務次官に就任し、約1年にわたって重責を担った。

新旧次官の挨拶概要は次の通り。